

第2回 千葉県銚子市沖における協議会

○日時

令和2年1月31日（金）14時00分～15時40分

○場所

三井ガーデンホテル千葉 3階「平安・南」

○参加者

経済産業省 清水課長、国土交通省 松良課長、千葉県 商工労働部 吉野部長、農林水産省 小林計画官、銚子市 越川市長、旭市 小倉課長、千葉県漁業協同組合連合会 坂本代表理事会長、銚子市漁業協同組合 和田副組合長理事、海匠漁業協同組合 土屋代表理事組合長、関東旅客船協会 宮内氏、東京理科大学 菊池教授、日本エネルギー経済研究所 工藤理事、海洋産業研究会 塩原事務局長、海洋エネルギー漁業共生センター 渋谷理事、足利大学 永尾特任教授、環境省 鈴木室長補佐

○議題

- （1）本協議会の進め方について
- （2）事務局説明事項（既存構造物に係る確認結果と国の調査の進捗）について
- （3）協議会意見とりまとめに向けた主な論点及び千葉県・銚子市の提出資料について
- （4）自由討議

○議事概要

- （1）本協議会の進め方について
 - 公開方法について、①一般傍聴を認めること、②議事要旨に加え、議事録も作成公開することが了承された。
- （2）事務局説明事項（既存構造物に係る確認結果と国の調査の進捗）について
 - 事務局（経済産業省、国土交通省）：資料4に沿って説明

(3) 協議会意見とりまとめに向けた主な論点及び千葉県・銚子市の提出資料について

(4) 自由討議

- 事務局（経済産業省）：参考資料 1、資料 5 に沿って説明
- 千葉県商工労働部長：資料 6 に沿って説明
- 銚子市：資料 7 に沿って説明

(地域経済の振興について)

- 地元自治体から、拠点立地や雇用も含めた地域振興に資する発電事業の実施、電力の地産地消等への配慮について要望があった。
- 地元自治体から、名洗港について、建設作業員の輸送のためやメンテナンスのための港湾としての活用について、要望があった。

(漁業共生策について)

- 漁業者から、法施行前から検討してきたものと同等の漁業共生策を期待しているとの意見が出された。また、公募に参加する事業者が漁業共生策への理解を深めるための説明会開催が要望され、他の構成員からも概ね賛同が得られた。
- 学識経験者や漁業者から、適切な漁業共生策の検討のためには事前の漁場調査が不可欠であるとの意見が出された。
- 地元自治体から、漁業共生策の実施等に関し、市の基金の活用について提案があった。

(景観・環境について)

- 有識者や地元自治体から、文化財である屏風ヶ浦等の景観への配慮の必要性や、観光資源としての積極的な活用の重要性とともに、環境影響評価手続きの適切な実施を求める意見が出された。

(その他)

- 学識経験者から、国民負担の増加と地域貢献のバランス、及び透明性、公正性へのバランスへの配慮が必要との意見が出された。
- 漁業者から、発電事業終了後の発電設備の柔軟な取扱いについて検討してはどうかとの意見が出された。